

「東日本大震災学童保育募金」へ ご協力をお願い

二〇一五年九月 全国学童保育連絡協議会

東日本大震災と原発事故から四年半が経過しました。学童保育においては、保護者、指導員、行政関係者などの努力により、多くの施設が再開され（原発事故による避難指示区域等を除く）、子どもの放課後や長期休業中の生活を守り、働きながら子育てする家庭を支えています。

しかし、震災以前から、学童保育の整備はたいへん不十分なものでした。二〇一五年四月から本格実施されている子ども・子育て支援新制度についても、取り組むべき課題を前に、困難を抱えている地域も少なくありません。

被災した地域の学童保育が本来の役割を果たすことができるよう、全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）は国と自治体に、緊急に求められる支援とともに、学童保育の制度・施策の抜本的な拡充・確立を求めてきました。

それと同時に、二〇一一年三月一四日、被災した地域の学童保育を支えるための募金を広く全国の学童保育関係者に呼びかけました。それから四年四か月あまりの期間に寄せられた募金は、四七九二万五九四一円になりました（二〇一五年七月三一日現在）。あらためて、募金にご協力くださっ

た皆さんに心から御礼申し上げます。

全国連協ではこれまで、全国の学童保育関係者の皆さんから寄せられた募金をもとに、被災した地域の行政や学童保育関係者と相談しつつ、つぎのような取り組みを行ってきました。

- ①学童保育施設の再建への支援
- ②学童保育に必要な備品などへの支援
- ③運営費への支援
- ④研修・相談活動など指導員への支援
- ⑤放射線被害から子どもたちを守るために必要な方策への支援
- ⑥学童保育の復旧・復興・発展を進める体制づくりのため、被災した地域の学童保育連絡協議会などに対する支援

現在、募金残高は五三万九六四円です。被災した各地域での、「安全に安心して生活できる学童保育」をつくっていくための息の長い取り組みは、これからも必要です。今後、数年間を見通しても、毎年五〇〇万円程度は必要です。

全国の学童保育関係者の皆さん、ぜひ、状況をご賢察いただき、被災した地域の指導員と保護者をばげまし、子どもたちの安全と安心を保障する学童保育づくりのための募金に、さらなるご協力をお願い申し上げます。

「東日本大震災 学童保育募金」の振込先

- ・銀行コード:0005 ・店番:351
- ・三菱東京UFJ銀行 ・本郷支店
- ・普通預金 0012273
- ・名義:全国学童保育連絡協議会 代表 木田保男きただやすお

問い合わせ先:全国学童保育連絡協議会 事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷2-26-13
Tel 03 (3813) 0477 Fax 03 (3813) 0765